

第 18 回 OECC 海外環境協力セミナーの報告

第 18 回 OECC 海外環境協力セミナーは平成 19 年 12 月 6 日(木)の 13 時 30 分より地球環境パートナーシップ・エポ会議室にて、約 50 人の参加者を集めて行われた。相川研修部会長の開会挨拶に続き、講演①「ベトナムの経済・社会情勢と日越協力」(在日ベトナム大使館次席代表公使 グエン・ミン・ハ氏)、講演②「ベトナム環境セクターの課題と円借款による支援—水環境改善事業を例として—」(国際協力銀行開発第二部第二班課長 森 尚樹氏)、講演③「ベトナムにおける環境ビジネスの創出の可能性」(環境システム設計(株)代表取締役・前 OECC 技術部会副部長 小林 康男氏)の 3 講演が行われた。

講演①ではベトナムの経済や日越関係についての解説があった。環境分野だけではなく全体的な情勢や国際関係についての最新状況もあり、セミナーの導入として最適であった。続いて講演②では、JBIC の支援によるベトナムでの下水道整備事業を例に、ベトナム環境セクターの構造や日本との連携状況についての講演があった。進行中の案件を含む最新の情報を聞くことができ、また今後

の展開についての情報も参加者にとって有益であったと思われる。また講演③では、ベトナムでの排水や汚泥・し尿処理分野の現状と、それに対する日本としての改善方法提案の可能性について講演があった。現場での写真を交えつつ小林氏が話される現地の様子は、分かり易く説得力があった。

続いてコーディネーターとして山本充弘 OECC 参与(前 JICA ベトナム・水環境技術能力向上プロジェクトチーフアドバイザー)、パネリストとして西宮康二 OECC 主任研究員(前 JICA ベトナム・水環境技術能力向上プロジェクトコーディネーター)と講演③講師の小林氏を迎え、パネルディスカッションが行われた。講演②講師の森氏は国会対応のためパネルディスカッションには残念ながら不参加となったが、会場を交え活発な議論が行われ、最後に片山 OECC 専務理事から閉会の挨拶があり、閉幕となった。

(株) 数理計画 数理計画本部 恵土 英

平成 19 年度 技術部会活動報告会の開催

平成 19 年度 技術部会活動報告会は、平成 20 年 3 月 25 日(火)の 14 時より、海外環境強力センター会議室にて、約 20 人の参加者を集めて行われた。土井技術部会長の開会挨拶に続き、平成 19 年度 OECC プロジェクトファイディング調査事業報告が行われた。「インドにおけるダイオキシン類を中心とした POPs 分析能力支援計画」に関し、19 年度のプロジェクトファイディング調査

事業実施者の(株)日吉の中村主任及び黄室長よりの説明が行なわれた。引き続き、水環境衛生技術研究会(自主研究)の報告が、東洋大学国際地域学部 北脇教授(研究会の主査)より行なわれた。両報告とも、説明の後、参加者を交え活発な議論が行われ、最後に片山 OECC 専務理事から閉会の挨拶があり、閉幕となった。